

WILCOMM

WilCommのバージョンアップに関する注意点 (V7.15)

UPG002 (Last Update : 2002/6/12)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



1 . WilComm のライセンスキーについて

Ver.6.5 までの WilComm では、AS/400 のみライセンスキーが必要でしたが、現在のバージョンでは P C サーバーの WilComm にもライセンスキーが必要となります。

ライセンスキーの取得方法につきましては、WilComm アップグレード手順書を参照下さい。

2 . WilComm データベースの仕様変更 (Ver.7.15)

以下のファイルについて仕様が変更されていますので、これらのデータベースに対してアクセスするユーザー開発プログラムが存在する場合、注意が必要です。

(1) ライブラリー WILPLEXCHG のファイル WCPOLL

(2) ライブラリー WILPLEXCHG のファイル WILPLEXMSG が WPXMSG という名前に変更されます。

3 . ユーザーが WilComm のデータベースに対して論理ファイルを作成している場合

データベースライブラリーはバージョンアップにより置き換えられますので注意が必要です。

4 . ユーザーが WILPLEXCHG 以外の WilComm ライブラリーにオブジェクトを作成している場合

WILPLEXCHG 以外の WilComm ライブラリー (WILPLEX, WILPLEXD, WILMNU1, WILPLEXSPL) はバージョンアップにより置き換えられますので注意が必要です。

5 . WilComm を導入している P C サーバーを NT4.0 から Windows2000 へ変更する場合

Windows2000 で AS/400 の P C フォルダをネットワークドライブに割り当てる場合、ネットサーバーを使用して接続する方法のみ、正常に動作することが確認されています。

Windows2000 で WilComm を使用する場合、OS/400 のバージョンが V4R4M0 以上 でご使用下さい。

6 . WilComm を導入している P C サーバーのモデル変更

ネットワークカードが変更された場合、WilComm のライセンスキーを再取得する必要があります。

7 . OS/400 のバージョンアップ

クライアントアクセスが使用できなくなる可能性があるので V4R2M0 以下からのバージョンアップでは注意が必要です。

8 . AS/400 の機種変更

WilComm のライセンスキーを再取得する必要があります。

マシングループが変更になる場合、追加のライセンス料金が発生する場合があります。